

## 稼働年齢層における生活保護受給者の生活実態 に関するアンケート調査報告

添田 祥史・野依 智子

### 【要約】

本稿は、稼働年齢層における生活保護受給者の生活実態に関するアンケート調査の集計結果である。結果をふまえて就労自立支援上の課題として、①働くための基礎学力保障の必要性、②社会関係の再構築の必要性、③生活の質に関わる問題、④現行の就労支援プログラムの運用と評価をめぐる問題、の4点にわたって論じた。

### 1 調査の目的

本稿は、稼働年齢層における生活保護受給者の生活実態に関するアンケート調査の集計結果である。

この調査は、厚生労働省科研費「生活保護受給者の就労自立を促す成人基礎教育カリキュラムの開発」（研究代表者：添田祥史）の一環として行われた。就労自立にいたるプロセスを成人の学習過程として位置付け、そのために必要なスキルや知識に対する援助実践を成人の基礎教育として体系化・理論化を試みようとするものである。

本科研の最終的な目的は、実際に職員が就労支援プログラムを作成する際に参照できるような現場に根ざしたカリキュラムを提案することにある。それに先立ち、まず受給者の生活実態把握が必要であると考え、稼働年齢層を対象者に質問紙調査を実施した。

### 2 方法

アンケート調査の方法は次の通りである。対象は、旧産炭地を抱える地方都市に暮らす稼働年齢の生活保護受給者とした。地域経済が厳しく、財源や活用できる社会資源も限られた中で、どのようなプログラムが可能かを考える基礎資料がほしかったためである。

調査項目は、次の手順をふんで生成した。釧路市生活福祉事務所の中核的職員であるK氏及びケース・ワーカーへの聞き取り調査を実施した。また、本報告書第3章の受給者Aさんの聞き取り調査の結果も考慮に入れて野依が素案を作成し、添田と協議のもとで項目を確定した。その後、前述の職員K氏に調査用紙案をみてもらい、回答者である受給者に伝わりやすいか、誤解を生じさせないかなどに関して助言をいただいた。なお、実際に配布した調査用紙を本稿の巻末に添付している。

調査対象者へのアクセスは次のような手順を採用した。各福祉事務所に稼働年齢層にある生活保護受給者でかつ障害や疾病のない方を抽出してもらい、担当ケース・ワーカーの訪問時に、生活保護受給者本人からアンケートを実施・回収してもらった。2009年12月中旬から実施してもらい、回収まで約1ヶ月を確保した。

北海道と福岡県の旧産炭地を抱える自治体の中から炭鉱規模等や地理的なバランスを考慮しつつ、調査協力自治体のリストを作成し、電話での調査趣旨の説明後、検討いただける自治体に書面とアンケート用紙を送付した。恒常的な人手不足に加えて、昨今の不況の影響から現場は多忙を極めており、半数以上の自治体から辞退の連絡があったが、北海道と福岡県から各4自治体、合計228名のサンプルを得ることができた。

K氏をはじめ、ご協力いただいた皆様に、この場をお借りして、感謝申し上げたい。

### 3 分析項目結

次の項目について、集計・分析した。各項目の分析結果は、巻末に掲載している。

- ・本調査の協力自治体
- ・問1：年齢
- ・問2：最終学歴
- ・問3：同居家族
- ・問4：生活保護受給開始時期
- ・問5：過去の生活保護受給有無
- ・問5-1：過去の生活保護受給回数
- ・問6：ケース・ワーカー訪問回数
- ・問7：「自立支援プログラム」参加有無
- ・問8：就労の可能性に対する意識
- ・問9：就労への不安要素

- ・問10：近隣との関係
- ・問11：最近一カ月で世間話をした相手
- ・問12：生活で頼りになる関係
- ・問13：気を使わずにつきあえる人数
- ・問14：生活の流れ
- ・問15：日課の有無
- ・問15-1：日課の内容（自由記述）
- ・問16：就労に結びつくアイデア（自由記述）

## 4 実践への示唆

本研究の目的に即して、興味深かった結果を確認しつつ、就労支援上の課題を4点にわたり述べることにしたい。なお、サンプル数や調査方法において、本調査は十分な信頼性と妥当性を担保しているとは言い難い。しかし、稼働年齢層の生活実態を伺い知る基礎資料としては、十分に共有する価値はあると思う。

### 4-1 働くための基礎学力の必要性

まず、明らかになったことは、働くための基礎学力保障の必要性である。

最終学歴は、中卒4割、高卒3割強であった。小学校以下のものが1%ほどいた。若年層には高校中退者も目立つ。また、低学歴ほど、過去に複数回受給を受けていたという答えが多かった。この背景には、教科学力不足に加えて人間関係を築く能力や自律的に行動する力を未獲得のまま社会に出されている状況が推測される。それらの力も含めて学びなおす環境の整備が求められよう。

その際、ユネスコが提唱する「機能的リテラシー」という概念が参考になる。「機能的リテラシー」とは、狭義の読み書き算だけではなく、人々が社会の一員として基本的な生活能力を獲得

したり社会参加をおこなったりするうえで必要不可欠とされる読み書き能力をさす。ここには、批判的に社会の情勢を読み解く力や図解の読解力、論理的思考力なども含まれる。

#### 4-2 社会関係の再構築の必要性

2点目は、社会関係の再構築の必要性である。社会関係を編み直す機会や仲間づくりを意識した就労支援プログラムが用意されてよい。

単身世帯が半数を占め、40代以上がとりわけ多いという特徴がみられた。気をつかわずにつきあえる人が0名との回答が14%、生活で頼りになる人が0名との回答が16%に及んだ。近隣との関係をたずねたところ「つきあいはない」との回答が3割近くにのぼった。最近1ヶ月間、世間話をしたことがない人も数名いた。とくに、中年層は人間関係が希薄になりやすい傾向がみられた。

具体的な他者を前にして初めて、私たちは社会とのつながりや自己を意識することができる。ひとりではないことが体感できてこそ、再チャレンジしようとする意欲や勇気が生まれるのではないだろうか。

#### 4-3 生活の質に関わる問題

3点目は、生活の質に関わる問題である。回答者の多くは規則正しい生活を送っているように見える。しかし、それは必ずしも充実したものとは言い難い。

自由時間は平均6.7時間であるにも関わらず、日課が「ない」が6割を占めた。睡眠時間は平均8.7時間、10時間以上が2割を占めた。注目すべきは、生活の質と就労への意識とは相関がみられることである。睡眠時間や自由時間が短いほど「必ず就労できると思う」という回答は多くなり、長くなるほどに「就労できるとは思わ

ない」という回答が増えた。日課をもたない人は、近所づきあいが希薄な傾向がみられた。まず、自らの生活の主体となることが、自らの人生や社会参加に対する意欲を喚起させる第一歩になるのかもしれない。

#### 4-4 運用と評価をめぐる問題

4点目は、現行の就労支援プログラムの運用と評価をめぐる問題である。ハローワークとの連携による就労支援以外のプログラムの実施はいまだ少ない。ハローワーク連携型の参加者は「必ず就労できる」が3割強、「たぶん就労できる」が6割強である。他方、就労体験型のプログラムは、3割強のひとが「就労できるとは思わない」と回答している。

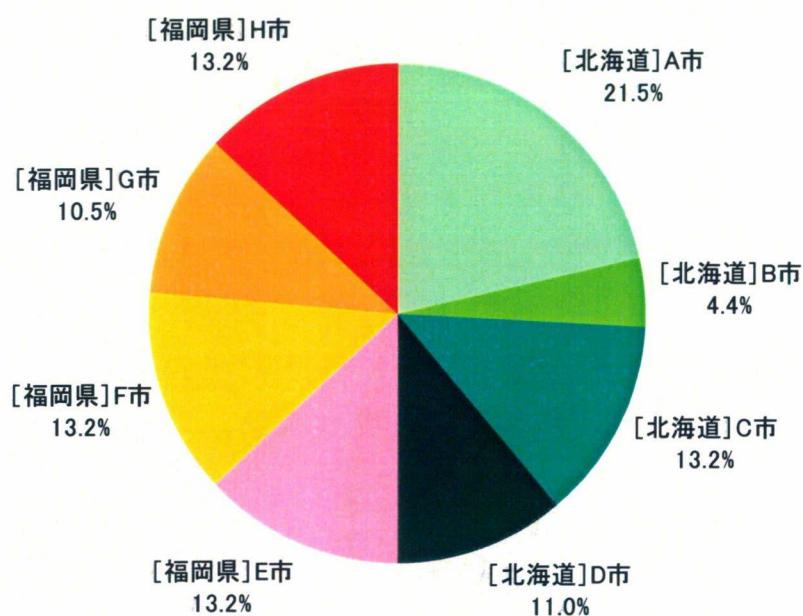
これをどう評価すべきか。地域経済が冷え込んでいる地方都市において、就労先をみつけるのは極めて厳しい。そのような地域で、「就労できるとは思わない」と思いながらも、プログラムに参加し続けているという事実に着目したい。就労へのあきらめが、社会や他者や自分に対する無関心につながりかねない状況をかろうじて回避していると評価できまいか。就労による保護廃止数のみを事業評価としない多面的な評価軸の開発が求められる。

#### 付記

本稿は、次のように公表される予定である。まず、報告書として製本したものを調査協力自治体に配布した。次に、国立国会図書館へ寄贈した。さらに、北海道教育大学図書館への寄贈及び同学学術リポジトリへの登録を行った。これによりウェブ上で報告所のPDFファイルの習得が可能になった。

# 本調査の協力自治体

- ・ 協力自治体では、「[北海道]A市」が最も多く2割。他では「[北海道]B市」を除き1割台となった。
- ・ サンプルの割合は、北海道と福岡県で約半数ずつ。

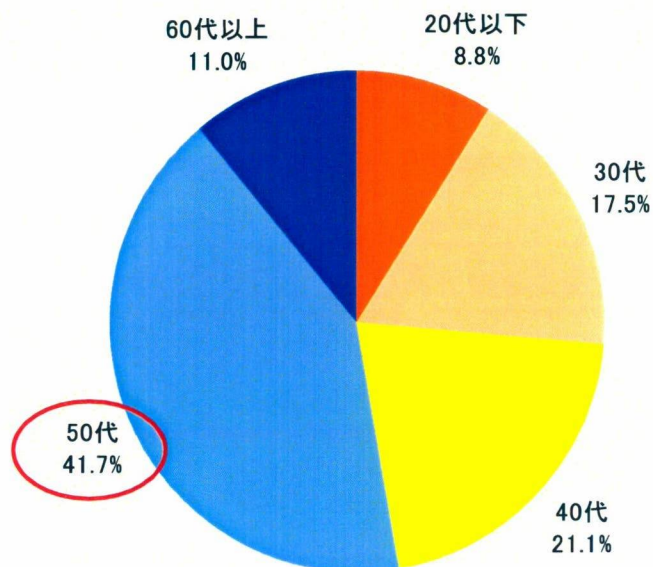


	n=	[北海道]A市	[北海道]B市	[北海道]C市	[北海道]D市	[福岡県]E市	[福岡県]F市	[福岡県]G市	[福岡県]H市
全体	228	21.5	4.4	13.2	11.0	13.2	13.2	10.5	13.2
北海道計	114	43.0	8.8	26.3	21.9	0.0	0.0	0.0	0.0
福岡県計	114	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	26.3	21.1	26.3



## 問 1- I : 年齢（実数回答）

- 年齢を年代ごとにみると、「50代」が最も多く4割を占めた。  
次いで「40代」「30代」が2割となった。



		n=	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
全 体		228	8.8	17.5	21.1	41.7	11.0
北海道計		114	7.9	14.9	18.4	38.6	20.2
福岡県計		114	9.6	20.2	23.7	44.7	1.8
協力自治体別	[北海道]A市	49	14.3	22.4	20.4	32.7	10.2
	[北海道]B市	10	0.0	0.0	30.0	40.0	30.0
	[北海道]C市	30	3.3	6.7	10.0	40.0	40.0
	[北海道]D市	25	4.0	16.0	20.0	48.0	12.0
	[福岡県]E市	30	16.7	23.3	16.7	43.3	0.0
	[福岡県]F市	30	10.0	23.3	26.7	36.7	3.3
	[福岡県]G市	24	0.0	16.7	20.8	62.5	0.0
	[福岡県]H市	30	10.0	16.7	30.0	40.0	3.3

# 問 1-Ⅱ：年齢

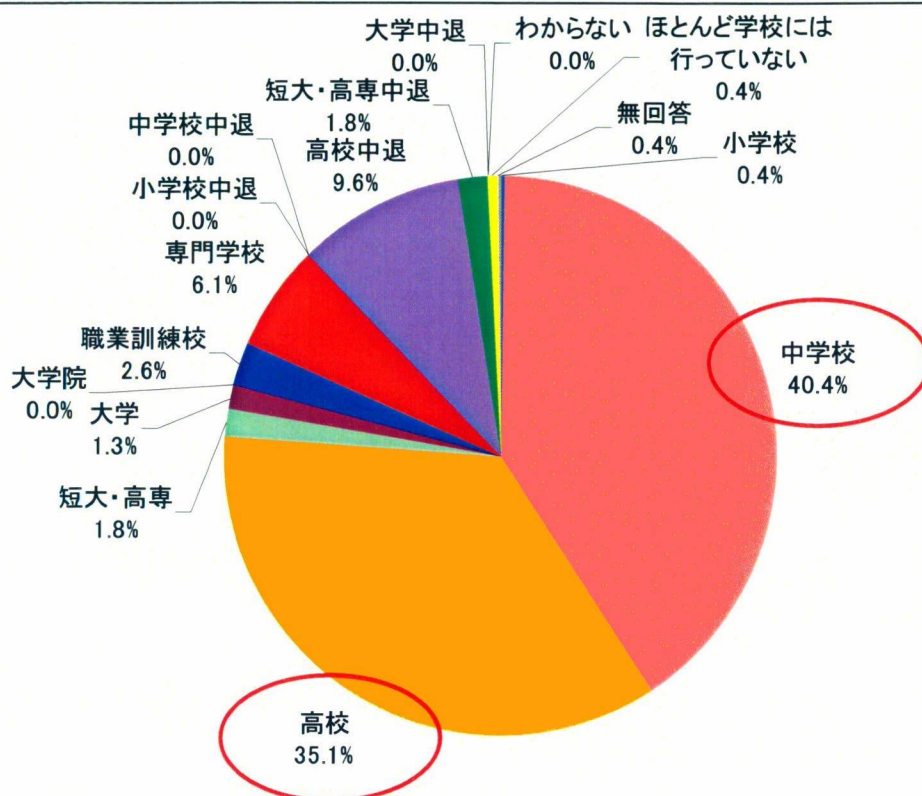
- 近隣関係別で「つきあいはない」をみると、「50代」が4割と高い傾向となった。

		n=	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
全体		228	8.8	17.5	21.1	41.7	11.0
年代別	20代以下	20	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	40	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	40代	48	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	50代	95	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	60代以上	25	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
最終学歴別	小学校	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	中学校	92	6.5	13.0	19.6	48.9	12.0
	高校中退	22	27.3	27.3	22.7	22.7	0.0
	高校	80	8.8	20.0	25.0	37.5	8.8
	短大・高専中退	4	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	短大・高専	4	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	大学	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	職業訓練校	6	0.0	16.7	33.3	0.0	50.0
	専門学校	14	0.0	21.4	7.1	42.9	28.6
	ほとんど学校には行っていない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
同居家族別	単身	118	2.5	4.2	20.3	55.9	16.9
	配偶者	30	3.3	23.3	26.7	36.7	10.0
	本人の母親	16	31.3	25.0	25.0	18.8	0.0
	本人の父親	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	息子	58	15.5	46.6	19.0	17.2	1.7
	娘	46	19.6	39.1	26.1	13.0	2.2
	配偶者の母親	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	本人の兄弟	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本人の姉妹	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の親族	5	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0
受給暦別	昭和以前	8	37.5	0.0	0.0	25.0	37.5
	平成元年～15年	38	5.3	28.9	18.4	36.8	10.5
	平成16年	13	0.0	23.1	7.7	61.5	7.7
	平成17年	18	5.6	27.8	11.1	38.9	16.7
	平成18年	11	18.2	9.1	36.4	27.3	9.1
	平成19年	26	11.5	11.5	23.1	42.3	11.5
	平成20年	35	11.4	11.4	28.6	31.4	17.1
	平成21年	71	7.0	16.9	23.9	46.5	5.6
近隣関係別	つきあいはない	41	17.1	17.1	19.5	41.5	4.9
	道で会えばあいさつぐらいはする	106	8.5	16.0	22.6	41.5	11.3
	出会ったときに少し世間話をする	51	7.8	25.5	15.7	41.2	9.8
	ときどき、お互いの家をたずねあう	16	0.0	6.3	25.0	37.5	31.3
	かなり頻繁にお互いの家をたずねあう	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	家族同様といえるくらい親しくつきあっている	4	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0



## 問 2- I : 最終学歴

- 最終学歴では「中学校」が最も多く4割を占め、次いで「高校」が3割半となった。



		n=	小学校	中学校	高校	短大・高専	大学	大学院	職業訓練校	専門学校	小学校中退	中学校中退	高校中退	短大・高専中退	大学中退	わからない	ほとんど学校には行っていない	無回答
全体		228	0.4	40.4	35.1	1.8	1.3	0.0	2.6	6.1	0.0	0.0	9.6	1.8	0.0	0.0	0.4	0.4
北海道計		114	0.0	45.6	28.9	0.9	1.8	0.0	4.4	6.1	0.0	0.0	9.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.9
福岡県計		114	0.9	35.1	41.2	2.6	0.9	0.0	0.9	6.1	0.0	0.0	9.6	1.8	0.0	0.0	0.9	0.0
協力自治体別	[北海道]A市	49	0.0	32.7	38.8	2.0	2.0	0.0	2.0	8.2	0.0	0.0	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	[北海道]B市	10	0.0	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	[北海道]C市	30	0.0	46.7	23.3	0.0	0.0	0.0	13.3	3.3	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	[北海道]D市	25	0.0	64.0	16.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	[福岡県]E市	30	0.0	46.7	43.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	[福岡県]F市	30	0.0	23.3	50.0	6.7	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	[福岡県]G市	24	4.2	50.0	29.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
	[福岡県]H市	30	0.0	23.3	40.0	3.3	3.3	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0



## 問 2-Ⅱ：最終学歴

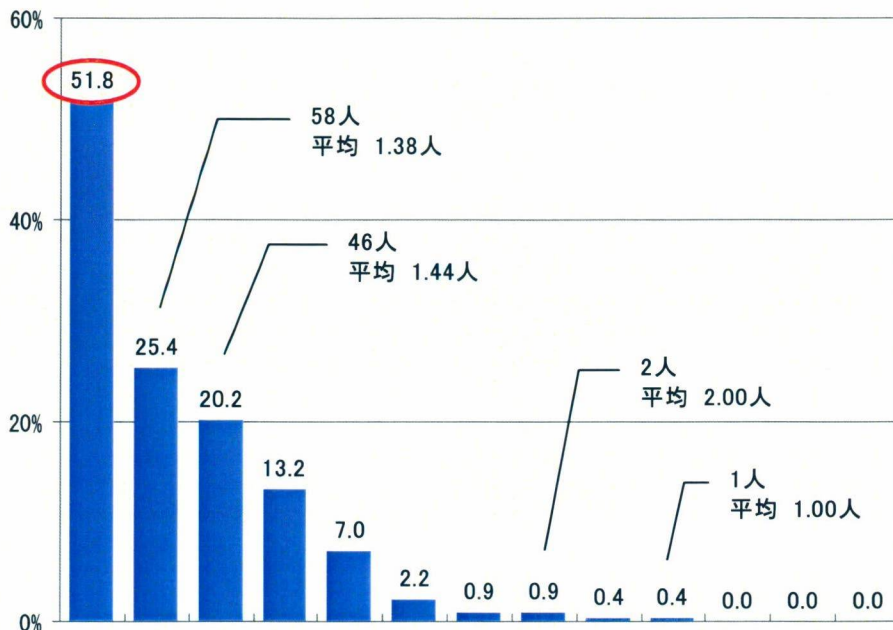
- 「年代別」でみると、「中学校」では年齢が高くなるにつれて、増加している。  
また、「高校」「高校中退」では逆に年齢が高くなるにつれて減少傾向となっている。

		n=	小学校	中学校	高校	短大・高専	大学	大学院	職業訓練校	専門学校	小学校中退	中学校中退	高校中退	短大・高専中退	大学中退	わからない	ほとんど学校には行っていない	無回答
全体		228	0.4	40.4	35.1	1.8	1.3	0.0	2.6	6.1	0.0	0.0	9.6	1.8	0.0	0.0	0.4	0.4
年代別	20代以下	20	0.0	30.0	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	40	0.0	30.0	40.0	5.0	0.0	0.0	2.5	7.5	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40代	48	0.0	37.5	41.7	0.0	0.0	0.0	4.2	2.1	0.0	0.0	10.4	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0
	50代	95	1.1	47.4	31.6	2.1	3.2	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	5.3	2.1	0.0	0.0	0.0	1.1
	60代以上	25	0.0	44.0	28.0	0.0	0.0	0.0	12.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最終学歴別	小学校	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	92	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校中退	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校	80	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	短大・高専中退	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	短大・高専	4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	職業訓練校	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専門学校	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ほとんど学校には行っていない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
同居家族別	単身	118	0.8	43.2	33.9	0.8	2.5	0.0	3.4	6.8	0.0	0.0	5.9	1.7	0.0	0.0	0.8	0.0
	配偶者	30	0.0	46.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3.3	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
	本人の母親	16	0.0	43.8	25.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本人の父親	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子	58	0.0	36.2	32.8	5.2	0.0	0.0	3.4	6.9	0.0	0.0	12.1	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	娘	46	0.0	26.1	45.7	4.3	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	19.6	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	配偶者の母親	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本人の兄弟	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本人の姉妹	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の親族	5	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受給暦別	昭和以前	8	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成元年～15年	38	0.0	50.0	31.6	0.0	2.6	0.0	2.6	5.3	0.0	0.0	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成16年	13	0.0	30.8	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成17年	18	0.0	44.4	16.7	0.0	0.0	0.0	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6
	平成18年	11	0.0	45.5	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成19年	26	0.0	23.1	69.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成20年	35	0.0	51.4	25.7	5.7	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成21年	71	0.0	38.0	38.0	1.4	2.8	0.0	2.8	1.4	0.0	0.0	12.7	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	
近隣関係別	つきあいはない	41	0.0	43.9	29.3	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	17.1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
	道で会えばあいさつくらいはする	106	0.9	34.9	42.5	0.9	0.9	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	10.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9
	出会ったときに少し世間話をする	51	0.0	35.3	35.3	3.9	2.0	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	ときどき、お互いの家をたずねあう	16	0.0	62.5	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	かなり頻繁にお互いの家をたずねあう	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族同様といえるくらい親しくつきあっている	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	



# 問 3- I : 同居家族 (複数回答可)

同居家族では「単身」が最も多く半数を占めている。次いで「息子」「娘」と子供が共に 2 割となった。



	n=	単身	息子	娘	配偶者	本人の母親	その他の親族	本人の父親	本人の姉妹	配偶者の母親	本人の兄弟	配偶者の父親	本人の祖父	本人の祖母
全体	228	51.8	25.4	20.2	13.2	7.0	2.2	0.9	0.9	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0
北海道計	114	53.5	18.4	18.4	14.0	7.0	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
福岡県計	114	50.0	32.5	21.9	12.3	7.0	3.5	0.9	1.8	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0
協力自治体別	[北海道]A市	49	42.9	32.7	30.6	10.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	[北海道]B市	10	40.0	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	[北海道]C市	30	83.3	3.3	3.3	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	[北海道]D市	25	44.0	12.0	12.0	20.0	16.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	[福岡県]E市	30	50.0	36.7	16.7	10.0	6.7	3.3	0.0	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0
	[福岡県]F市	30	33.3	40.0	40.0	26.7	6.7	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	[福岡県]G市	24	66.7	20.8	4.2	4.2	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	[福岡県]H市	30	53.3	30.0	23.3	6.7	13.3	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0



## 問 3-Ⅱ：同居家族（複数回答可）

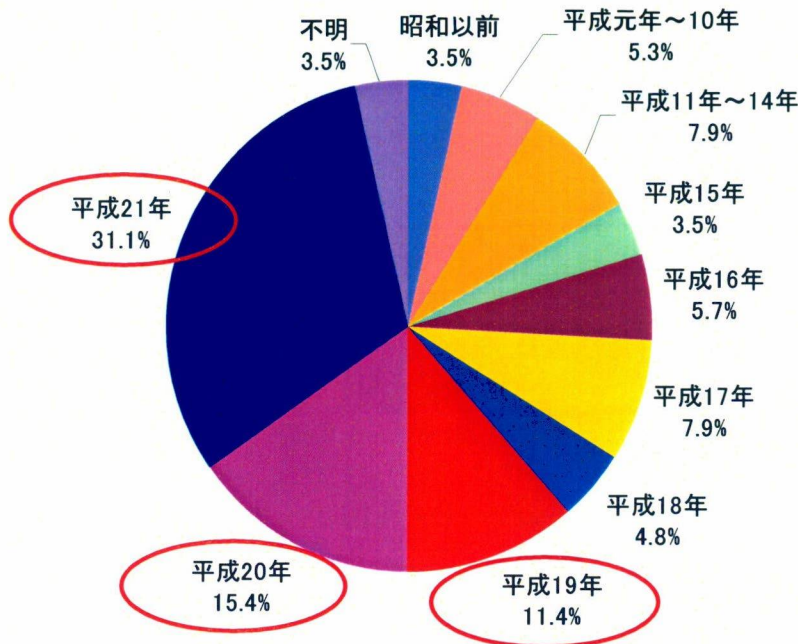
- ・ 年齢別で「単身」みると、「30代」以下では1割程度だが「40代」以上では半数以上と大きく差が現れた。また、「息子」「娘」では逆に「30代」「40代」を境に減少した。
- ・ 近隣関係別では「単身」が「つきあいはない」が6割を超えていた。

		n=	単身	息子	娘	配偶者	本人の母親	その他の親族	本人の父親	本人の姉妹	配偶者の母親	本人の兄弟	配偶者の父親	本人の祖父	本人の祖母	
全体		228	51.8	25.4	20.2	13.2	7.0	2.2	0.9	0.9	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	
年代別	20代以下	20	15.0	45.0	45.0	5.0	25.0	5.0	5.0	10.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	
	30代	40	12.5	67.5	45.0	17.5	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	40代	48	50.0	22.9	25.0	16.7	8.3	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	50代	95	69.5	10.5	6.3	11.6	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	60代以上	25	80.0	4.0	4.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
最終学歴別	小学校	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	中学校	92	55.4	22.8	13.0	15.2	7.6	3.3	1.1	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	高校中退	22	31.8	31.8	40.9	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	高校	80	50.0	23.8	26.3	12.5	5.0	2.5	1.3	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	
	短大・高専中退	4	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	短大・高専	4	25.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	職業訓練校	6	66.7	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専門学校	14	57.1	28.6	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ほとんど学校には行っていない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居家族別	単身	118	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	配偶者	30	0.0	40.0	30.0	100.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	本人の母親	16	0.0	18.8	6.3	6.3	100.0	6.3	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	本人の父親	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	息子	58	0.0	100.0	43.1	20.7	5.2	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	娘	46	0.0	54.3	100.0	19.6	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	配偶者の母親	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	本人の兄弟	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	本人の姉妹	2	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他の親族	5	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	100.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
受給暦別	昭和以前	8	50.0	25.0	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平成元年～15年	38	42.1	34.2	21.1	10.5	10.5	0.0	5.3	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	
	平成16年	13	69.2	15.4	15.4	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平成17年	18	27.8	38.9	33.3	27.8	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平成18年	11	36.4	27.3	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平成19年	26	57.7	19.2	26.9	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平成20年	35	51.4	25.7	22.9	20.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
平成21年	71	57.7	21.1	14.1	12.7	8.5	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
近隣関係別	つきあいはない	41	65.9	17.1	12.2	4.9	7.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	道で会えばあいさつぐらいはする	106	50.0	24.5	20.8	13.2	9.4	2.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	
	出会ったときに少し世間話をする	51	37.3	39.2	27.5	15.7	5.9	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ときどき、お互いの家をたずねあう	16	75.0	6.3	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	かなり頻繁にお互いの家をたずねあう	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
家族同様といえるくらい親しくつきあっている	4	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		



## 問 4- I : 生活保護受給開始時期

- 生活保護を受給し始めた時期としては、「平成 21 年」が最も多く 3 割を占めていた。  
また、「平成 19 年」～「平成 21 年」の直近 3 年間で受給を開始した人が、半数以上となっている。



	n=	昭和以前	平成元年～10年	平成11年～14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	不明	
全 体	228	3.5	5.3	7.9	3.5	5.7	7.9	4.8	11.4	15.4	31.1	3.5	
北海道 計	114	2.6	6.1	9.6	3.5	5.3	7.9	5.3	10.5	20.2	23.7	5.3	
福岡県 計	114	4.4	4.4	6.1	3.5	6.1	7.9	4.4	12.3	10.5	38.6	1.8	
協力自治体別	[北海道]A市	49	0.0	4.1	8.2	2.0	2.0	12.2	6.1	18.4	16.3	26.5	4.1
	[北海道]B市	10	0.0	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	20.0	30.0	0.0
	[北海道]C市	30	10.0	0.0	6.7	6.7	10.0	10.0	3.3	6.7	23.3	20.0	3.3
	[北海道]D市	25	0.0	16.0	12.0	4.0	4.0	0.0	4.0	4.0	24.0	20.0	12.0
	[福岡県]E市	30	3.3	3.3	3.3	0.0	13.3	10.0	10.0	13.3	13.3	26.7	3.3
	[福岡県]F市	30	6.7	3.3	0.0	3.3	3.3	10.0	3.3	16.7	10.0	40.0	3.3
	[福岡県]G市	24	4.2	8.3	12.5	8.3	0.0	8.3	0.0	12.5	8.3	37.5	0.0
	[福岡県]H市	30	3.3	3.3	10.0	3.3	6.7	3.3	3.3	6.7	10.0	50.0	0.0



## 問 4-Ⅱ：生活保護受給開始時期

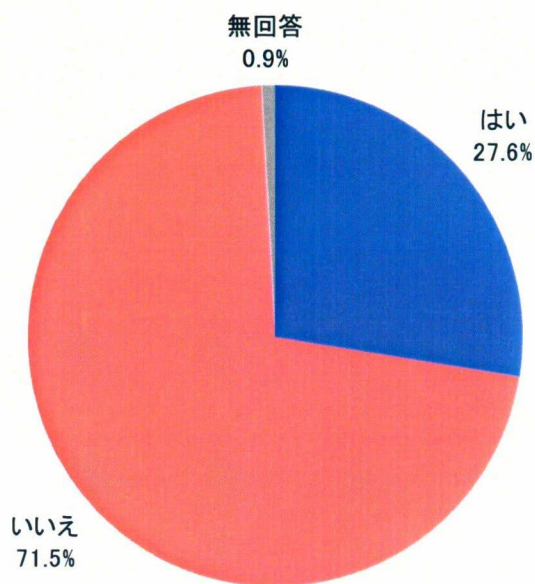
- 年代別で見ると、「40代」「50代」が他の年代より「平成21年」で高い傾向となっていた。
- 近隣関係別で「平成21年」受給開始をみると「つきあいはない」と回答した人が4割を超えていた。

		n=	昭和以前	平成元年～10年	平成11年～14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	不明
全体		228	3.5	5.3	7.9	3.5	5.7	7.9	4.8	11.4	15.4	31.1	3.5
年代別	20代以下	20	15.0	10.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	15.0	20.0	25.0	0.0
	30代	40	0.0	10.0	12.5	5.0	7.5	12.5	2.5	7.5	10.0	30.0	2.5
	40代	48	0.0	6.3	8.3	0.0	2.1	4.2	8.3	12.5	20.8	35.4	2.1
	50代	95	2.1	2.1	7.4	5.3	8.4	7.4	3.2	11.6	11.6	34.7	6.3
	60代以上	25	12.0	4.0	8.0	4.0	4.0	12.0	4.0	12.0	24.0	16.0	0.0
最終学歴別	小学校	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	92	2.2	6.5	8.7	5.4	4.3	8.7	5.4	6.5	19.6	29.3	3.3
	高校中退	22	4.5	9.1	4.5	0.0	9.1	0.0	9.1	4.5	18.2	40.9	0.0
	高校	80	2.5	3.8	8.8	2.5	5.0	3.8	5.0	22.5	11.3	33.8	1.3
	短大・高専中退	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
	短大・高専	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0
	大学	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	職業訓練校	6	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0
	専門学校	14	7.1	7.1	0.0	7.1	14.3	28.6	0.0	7.1	7.1	7.1	14.3
	ほとんど学校には行っていない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
同居家族別	単身	118	3.4	3.4	5.9	4.2	7.6	4.2	3.4	12.7	15.3	34.7	5.1
	配偶者	30	3.3	0.0	13.3	0.0	6.7	16.7	3.3	3.3	23.3	30.0	0.0
	本人の母親	16	18.8	18.8	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	37.5	0.0
	本人の父親	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子	58	3.4	3.4	15.5	3.4	3.4	12.1	5.2	8.6	15.5	25.9	3.4
	娘	46	0.0	4.3	10.9	2.2	4.3	13.0	8.7	15.2	17.4	21.7	2.2
	配偶者の母親	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本人の兄弟	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本人の姉妹	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の親族	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	
受給暦別	昭和以前	8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成元年～15年	38	0.0	31.6	47.4	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成16年	13	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成17年	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成18年	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成19年	26	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	平成20年	35	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
平成21年	71	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
近隣関係別	つきあいはない	41	2.4	2.4	4.9	2.4	4.9	7.3	4.9	7.3	17.1	43.9	2.4
	道で会えばあいさつぐらいはする	106	3.8	2.8	8.5	3.8	4.7	8.5	5.7	15.1	10.4	34.9	1.9
	出会ったときに少し世間話をする	51	3.9	7.8	9.8	5.9	7.8	5.9	0.0	11.8	15.7	25.5	5.9
	ときどき、お互いの家をたずねあう	16	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	18.8	6.3	6.3	37.5	6.3	12.5
	かなり頻繁にお互いの家をたずねあう	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族同様といえるくらい親しくつきあっている	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0



## 問 5- I : 過去の生活保護受給有無

- 過去に生活保護の受給を受けたことがある経験者「はい」は3割弱となり、受けたことがない「いいえ」では7割以上を占めた。



		n=	はい	いいえ	無回答
全 体		228	27.6	71.5	0.9
北海道計		114	21.9	78.1	0.0
福岡県計		114	33.3	64.9	1.8
協力自治体別	[北海道]A市	49	18.4	81.6	0.0
	[北海道]B市	10	10.0	90.0	0.0
	[北海道]C市	30	33.3	66.7	0.0
	[北海道]D市	25	20.0	80.0	0.0
	[福岡県]E市	30	56.7	43.3	0.0
	[福岡県]F市	30	26.7	73.3	0.0
	[福岡県]G市	24	20.8	75.0	4.2
	[福岡県]H市	30	26.7	70.0	3.3

## 問 5-Ⅱ：過去の生活保護受給有無

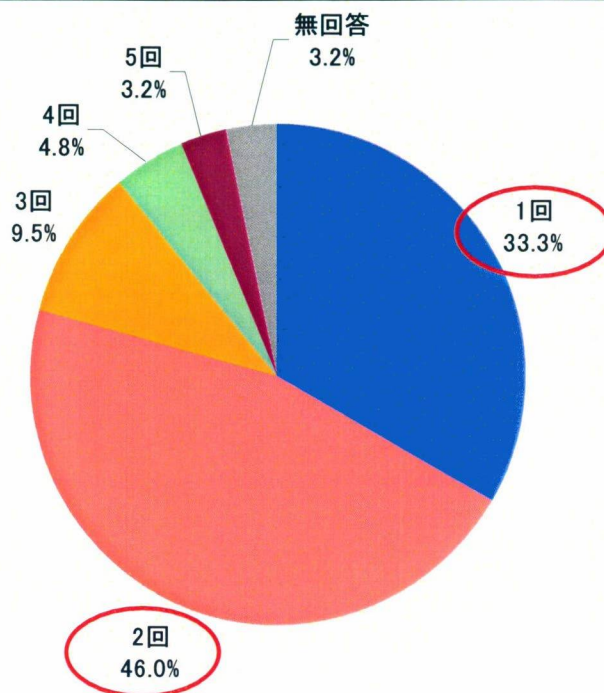
- 年代別にみると、「40代」で「はい」の比率が最も高い。

		n=	はい	いいえ	無回答
全 体		228	27.6	71.5	0.9
年 代 別	20代以下	20	10.0	90.0	0.0
	30代	40	27.5	72.5	0.0
	40代	48	37.5	60.4	2.1
	50代	95	27.4	71.6	1.1
	60代以上	25	24.0	76.0	0.0
最 終 学 歴 別	小学校	1	0.0	100.0	0.0
	中学校	92	31.5	67.4	1.1
	高校中退	22	36.4	63.6	0.0
	高校	80	23.8	75.0	1.3
	短大・高専中退	4	25.0	75.0	0.0
	短大・高専	4	25.0	75.0	0.0
	大学	3	0.0	100.0	0.0
	職業訓練校	6	33.3	66.7	0.0
	専門学校	14	21.4	78.6	0.0
	ほとんど学校には行っていない	1	0.0	100.0	0.0
同 居 家 族 別	単身	118	30.5	68.6	0.8
	配偶者	30	30.0	70.0	0.0
	本人の母親	16	31.3	62.5	6.3
	本人の父親	2	0.0	100.0	0.0
	息子	58	29.3	70.7	0.0
	娘	46	17.4	82.6	0.0
	配偶者の母親	1	0.0	100.0	0.0
	本人の兄弟	1	0.0	100.0	0.0
	本人の姉妹	2	50.0	50.0	0.0
	その他の親族	5	60.0	40.0	0.0
受 給 暦 別	昭和以前	8	25.0	75.0	0.0
	平成元年～15年	38	26.3	71.1	2.6
	平成16年	13	7.7	92.3	0.0
	平成17年	18	22.2	77.8	0.0
	平成18年	11	27.3	72.7	0.0
	平成19年	26	30.8	69.2	0.0
	平成20年	35	31.4	68.6	0.0
	平成21年	71	29.6	69.0	1.4
近 隣 関 係 別	つきあいはない	41	24.4	75.6	0.0
	道で会えばあいさつぐらいはする	106	25.5	73.6	0.9
	出会ったときに少し世間話をする	51	27.5	70.6	2.0
	ときどき、お互いの家をたずねあう	16	31.3	68.8	0.0
	かなり頻繁にお互いの家をたずねあう	1	100.0	0.0	0.0
	家族同様といえるくらい親しくつきあっている	4	75.0	25.0	0.0



## 問 5-1- I : 過去の生活保護受給回数

- 過去の生活保護受給回数では「2回」が最も多く4割半を占める。ついで「1回」で3割となった。また、平均受給回数は1.95回となった。



		n=	1回	2回	3回	4回	5回	無回答	平均(回)
全体		63	33.3	46.0	9.5	4.8	3.2	3.2	1.95
北海道計		25	28.0	56.0	4.0	4.0	0.0	8.0	1.83
福岡県計		38	36.8	39.5	13.2	5.3	5.3	0.0	2.03
協力自治体別	[北海道]A市	9	44.4	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	1.89
	[北海道]B市	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.00
	[北海道]C市	10	30.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.70
	[北海道]D市	5	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	2.00
	[福岡県]E市	17	41.2	23.5	17.6	5.9	11.8	0.0	2.24
	[福岡県]F市	8	37.5	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	1.75
	[福岡県]G市	5	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	2.00
	[福岡県]H市	8	37.5	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	1.88

# 問 5-1-II : 過去の生活保護受給回数

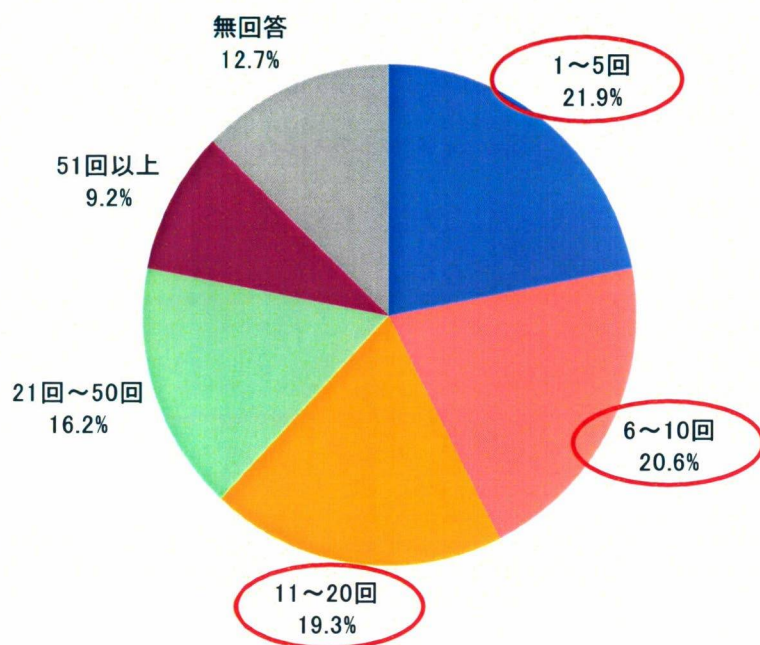
・年代別で平均受給回数みると、「50代」で 2.08 回と多い傾向となっていた。

		n=	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	無 回 答	平均 (回)
全 体		63	33.3	46.0	9.5	4.8	3.2	3.2	1.95
年 代 別	20代以下	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	4.00
	30代	11	54.5	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	1.73
	40代	18	22.2	61.1	11.1	0.0	0.0	5.6	1.88
	50代	26	30.8	50.0	7.7	3.8	7.7	0.0	2.08
	60代以上	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	1.67
最 終 学 歴 別	小学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
	中学校	29	17.2	51.7	13.8	6.9	6.9	3.4	2.32
	高校中退	8	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5	1.86
	高校	19	47.4	47.4	5.3	0.0	0.0	0.0	1.58
	短大・高専中退	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.00
	短大・高専	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	4.00
	大学	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
	職業訓練校	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.50
	専門学校	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.00
	ほとんど学校には行って いない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
同 居 家 族 別	単身	36	38.9	47.2	8.3	0.0	5.6	0.0	1.86
	配偶者	9	0.0	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	2.22
	本人の母親	5	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	3.00
	本人の父親	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
	息子	17	35.3	41.2	5.9	11.8	0.0	5.9	1.94
	娘	8	37.5	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	1.75
	配偶者の母親	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
	本人の兄弟	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
	本人の姉妹	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	4.00
その他の親族	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	2.67	
受 給 暦 別	昭和以前	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2.50
	平成元年～15年	10	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.50
	平成16年	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.00
	平成17年	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.50
	平成18年	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	3.00
	平成19年	8	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.63
	平成20年	11	27.3	36.4	18.2	0.0	0.0	18.2	1.89
平成21年	21	19.0	52.4	14.3	9.5	4.8	0.0	2.29	
近 隣 関 係 別	つきあいはない	10	40.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0	2.00
	道で会えばあいさつぐら いはする	27	25.9	55.6	11.1	3.7	0.0	3.7	1.92
	出会ったときに少し世間 話をする	14	35.7	42.9	0.0	14.3	0.0	7.1	1.92
	ときどき、お互いの家を たずねあう	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	2.20
	かなり頻繁にお互いの家 をたずねあう 家族同様といえるくらい親しく つきあっている	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.00
	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	2.67	



## 問 6-I : ケース・ワーカー訪問回数

- ・ ケース・ワーカーの訪問回数では「1～5回」が最も多く、次いで「6～10回」、「11～20回」となった。また、平均回数は21.31回となった。



		n=	1 ～ 5 回	6 ～ 1 0 回	1 1 ～ 2 0 回	2 1 ～ 5 0 回	5 1 回 以上	無 回 答	平均 (回)
全 体		228	21.9	20.6	19.3	16.2	9.2	12.7	21.31
北海道 計		114	22.8	18.4	26.3	8.8	8.8	14.9	21.08
福岡県 計		114	21.1	22.8	12.3	23.7	9.6	10.5	21.52
協 力 自 治 体 別	[北海道]A市	49	26.5	24.5	28.6	10.2	6.1	4.1	15.70
	[北海道]B市	10	30.0	10.0	20.0	0.0	0.0	40.0	7.67
	[北海道]C市	30	20.0	23.3	30.0	10.0	16.7	0.0	29.70
	[北海道]D市	25	16.0	4.0	20.0	8.0	8.0	44.0	26.43
	[福岡県]E市	30	16.7	23.3	16.7	30.0	6.7	6.7	20.96
	[福岡県]F市	30	20.0	20.0	10.0	26.7	10.0	13.3	21.58
	[福岡県]G市	24	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	29.95
	[福岡県]H市	30	30.0	30.0	6.7	20.0	6.7	6.7	16.00

## 問 6-Ⅱ：ケース・ワーカー訪問回数

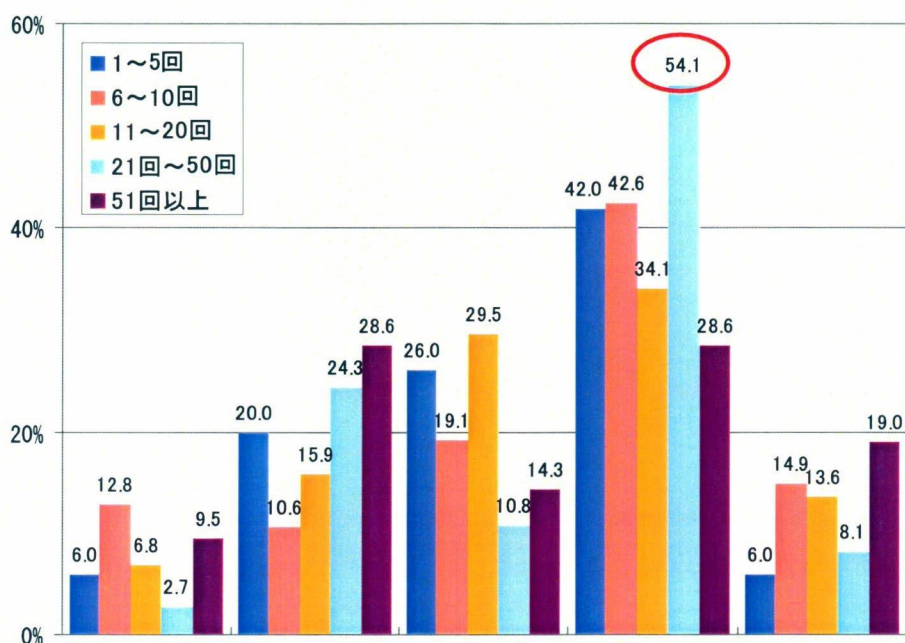
- 年代別で訪問平均回数をみると、最も多いのは「60代以上」で32.87回、最も少ないのは「40代」で15.12回となった。・近隣関係別で訪問平均回数をみると「つきあいはない」が18.86回に対し、「出会った時に少し世間話をする」では29.02回と多い傾向となった。

		n=	1 5 回	6 1 0 回	1 1 2 0 回	2 1 5 0 回	5 1 回 以上	無 回 答	平均 (回)
全 体		228	21.9	20.6	19.3	16.2	9.2	12.7	21.31
年 代 別	20代以下	20	15.0	30.0	15.0	5.0	10.0	25.0	19.20
	30代	40	25.0	12.5	17.5	22.5	15.0	7.5	25.46
	40代	48	27.1	18.8	27.1	8.3	6.3	12.5	15.12
	50代	95	22.1	21.1	15.8	21.1	6.3	13.7	19.74
	60代以上	25	12.0	28.0	24.0	12.0	16.0	8.0	32.87
最 終 学 歴 別	小学校	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.00
	中学校	92	23.9	18.5	18.5	12.0	10.9	16.3	20.79
	高校中退	22	27.3	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2	17.83
	高校	80	21.3	23.8	20.0	21.3	5.0	8.8	18.30
	短大・高専中退	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	17.50
	短大・高専	4	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	8.33
	大学	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3.50
	職業訓練校	6	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	32.83
	専門学校	14	7.1	14.3	14.3	35.7	28.6	0.0	47.14
	ほとんど学校には行って いない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.00
同 居 家 族 別	単身	118	22.9	22.0	20.3	14.4	8.5	11.9	20.48
	配偶者	30	23.3	20.0	23.3	20.0	6.7	6.7	20.96
	本人の母親	16	25.0	12.5	6.3	12.5	18.8	25.0	32.83
	本人の父親	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.00
	息子	58	20.7	19.0	13.8	20.7	12.1	13.8	23.60
	娘	46	17.4	15.2	28.3	21.7	4.3	13.0	19.18
	配偶者の母親	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.00
	本人の兄弟	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	60.00
	本人の姉妹	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	21.00
その他の親族	5	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	16.25	
受 給 暦 別	昭和以前	8	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0	37.5	93.80
	平成元年～15年	38	0.0	0.0	5.3	23.7	39.5	31.6	58.12
	平成16年	13	7.7	0.0	30.8	46.2	7.7	7.7	29.08
	平成17年	18	5.6	0.0	55.6	33.3	5.6	0.0	23.89
	平成18年	11	0.0	9.1	54.5	18.2	9.1	9.1	22.20
	平成19年	26	3.8	23.1	26.9	34.6	0.0	11.5	18.44
	平成20年	35	11.4	40.0	34.3	2.9	0.0	11.4	11.29
	平成21年	71	60.6	35.2	1.4	0.0	0.0	2.8	5.15
近 隣 関 係 別	つきあいはない	41	26.8	22.0	19.5	12.2	7.3	12.2	18.86
	道で会えばあいさつぐら いはする	106	25.5	19.8	17.9	18.9	4.7	13.2	16.89
	出会ったときに少し世間 話をする	51	17.6	19.6	21.6	17.6	15.7	7.8	29.02
	ときどき、お互いの家を たずねあう	16	6.3	31.3	25.0	12.5	12.5	12.5	24.93
	かなり頻繁にお互いの家 をたずねあう	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.00
	家族同様といえるくらい親しく つきあっている	4	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	49.33



## 問 6-Ⅲ：ケース・ワーカー訪問回数

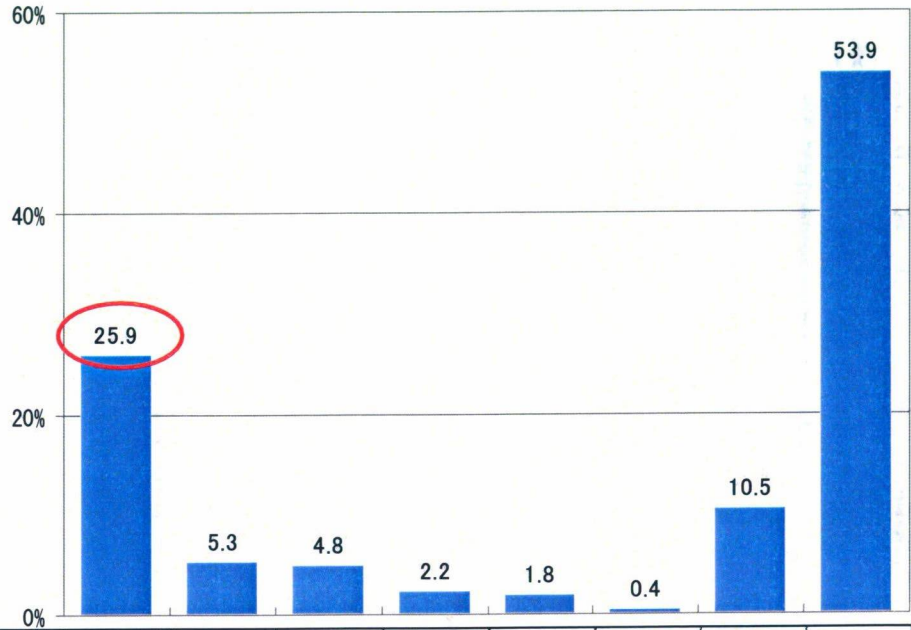
- ・ 年齢をケース・ワーカー訪問回数別にみると、訪問回数「21回～50回」では「50代」が半数を占めていた。
- ・ また、「30代」「60代以上」では他の年代と比べて「51回以上」の割合が高くなった。



		n=	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
全 体		228	8.8	17.5	21.1	41.7	11.0
訪 問 回 数 別	1~5回	50	6.0	20.0	26.0	42.0	6.0
	6~10回	47	12.8	10.6	19.1	42.6	14.9
	11~20回	44	6.8	15.9	29.5	34.1	13.6
	21回~50回	37	2.7	24.3	10.8	54.1	8.1
	51回以上	21	9.5	28.6	14.3	28.6	19.0

# 問 7- I : 「自立支援プログラム」参加有無（複数回答可）

- ・ 「自立支援プログラム」の参加で最も多いのは「ハローワークとの連携による就労支援事業」で 2 割半となった。他のプログラムの参加割合は 1 割以下と低い。
- ・ また、非参加（無回答含）が半数以上と、参加していない可能性の方が多いと思われる。



		n=	ハローワークとの連携による就労支援事業	ボランティア事業	資格取得を支援する事業（パソコンや簿記など）	就労準備に関する書き方・面接の心得など	母子世帯を対象とした就労支援事業	就労意欲を喚起するような事業（受給者同士の交流など）	その他	（無回答含）非参加
全 体		228	25.9	5.3	4.8	2.2	1.8	0.4	10.5	53.9
北海道計		114	20.2	5.3	6.1	2.6	0.9	0.0	6.1	64.9
福岡県計		114	31.6	5.3	3.5	1.8	2.6	0.9	14.9	43.0
協力自治体別	[北海道]A市	49	18.4	12.2	6.1	2.0	2.0	0.0	6.1	63.3
	[北海道]B市	10	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	50.0
	[北海道]C市	30	10.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	76.7
	[北海道]D市	25	36.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	4.0	60.0
	[福岡県]E市	30	16.7	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	13.3	63.3
	[福岡県]F市	30	43.3	3.3	0.0	3.3	10.0	3.3	13.3	26.7
	[福岡県]G市	24	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	66.7
	[福岡県]H市	30	40.0	16.7	3.3	3.3	0.0	0.0	23.3	20.0